

適性型 そつくり模試

適性一 (作文型)

試験にあたって

- 一 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 二 問題は全部で二ページにわたって印刷してあります。最初にページ数を確認してください。
- 三 解答用紙は一枚で、問題用紙と違う用紙に印刷されてお^{ちが}り、問題用紙の中にはさんであります。試験時間は十五分間です。終了五分前になったら知らせます。
- 四 最初に受験番号と氏名を解答用紙の決められたらんに記入してください。
- 五 声を出して読んだり、他の人と筆記用具などの貸し借りをしてはいけません。
- 六 適性一の解答に当たっては、すべて解答用紙に縦書きで記入してください。
- 七 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。
- 八 終了の合図後、係が解答用紙を集めます。
- 九

わたしたちのまわりには、海のおくりものがいっぱいです。魚やこんぶ、それに塩。それだけでも、なんとゆたかなおくりものでしょう。なんとさまざまな食品に、海の幸がしのびこんでいることでしょう。

塩は、人間や動物が生きていくのに、なくてはならない物質です。水や空気と同じほどにたいせつです。

毎日の食卓をながめてみましょう。

おみそ汁にもチャーハンにも、パンやスナックなどのおやつにも、わたしたちが口にするほとんど全ての食品に、海の産物がつかわれています。

「たまごにも、海がはいっていますよ」と、ニワトリを飼っている農家の子がいいました。

「牛も、海となかよしですよ」と、牛を飼っている農家の子がいいました。

おいしいたまごを産むために、ニワトリも、魚の骨や貝がらを食べています。おいしい肉をつくるため、牛や豚のえさの中にも、イワシやエビがまじっています。

お米や野菜や果物は、ゆたかな土にそだちます。そのゆたかな土をつくるため、肥料にも、魚や貝や海藻が大活躍しています。

このように、海は大地もやashなっているのです。

海はまた、①ちがったおくりもので、わたしたちを助けています。

「波や潮」という水の力のおくりものです。

それというのもわたしたちの生活は、外国からの輸入品にたよっています。たとえば石油を考えてみましょう。電気やガス、ガソリンなど、くらしに欠かせないエネルギーは、ほとんど石油にたよっていますね。その石油からプラスチックも化学せんいも、さまざまな薬品もつくられます。衣類にも洗剤にも、石油はつかわれています。

石油ばかりではありません。鉄や亜鉛などの鉱物も、木材も、食料も、日

本は外国から大量に輸入しています。それらはどのようにして運ばれてくるのでしょうか。船に積まれ、海の波に乗り、水の力を借りながら、日本の港へ運ばれてきます。自動車や鉄道や飛行機では、とても考えられないような大きな荷物も重いものも、大量の品々も、海は水に任せ、どこまでもどこまでも運んでくれます。

ですからあなたの下着も洋服も、靴下も靴も、ノートや鉛筆、ランドセルも、テレビ、電卓、ゲーム機も、みな海の力のおかげです。

②もつと大きなおくりものがありますよ。雨や雪、つまりは「水」のおくりものです。

あなたは雨が、どうしてふるのか、考えたことがありますか。

空を仰いでごらんさない。雨はどこからふってくるのでしょうか。月からふってくるのでしょうか。それとも火星からでしょうか。

なるほど雨は、空からふってきますね。でも、そのおおもとの水は、どこからくるのでしょうか。

雨は、海からやってきます。

海の水があたためられて蒸発し、上空で冷やされて雲になり、雨やあられや雪になって、地上に落ちてくるのです。雨は、海のおくりものです。

その雨を、森林や水田がうけとめます。その水は土にしみこみ地下水になり、やがて下流にわき出てきて川の水になりますね、それをダムでせきとめて、水路やパイプで引いてくる、それが水道の水、わが家のじゃぐちの水ですね。

では、あなたがつかったその水は、最後はどこへ行くのでしょうか。下水道から川へ出て川の水になり、やがて海にはき出されて海の水になりますね。そして海の魚たちをやしません。その水はまた蒸発し、上空で冷やされて雲になり、雨や雪となって地上にふって、また川の水になり、わが家のじゃぐちにぐちに運ばれてくるのです。

このように水は循環しています。ぐるぐるとまわるそんな水の旅をとおして、海は海の生きものたちと陸地の生き物たちとの両方を、やしまっているのです。

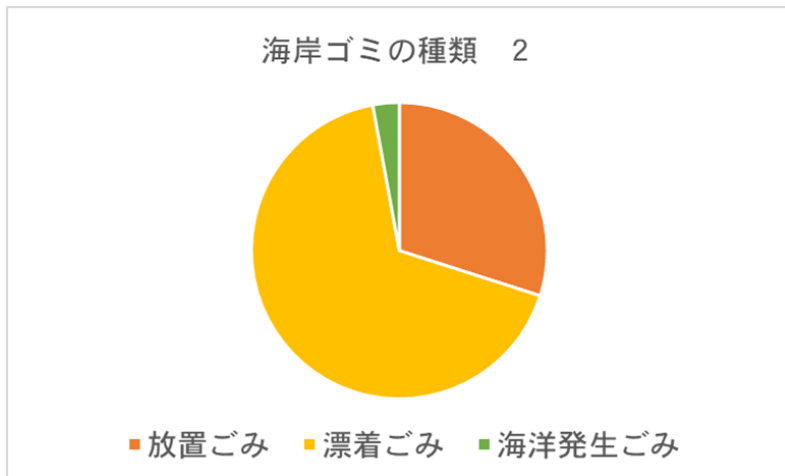
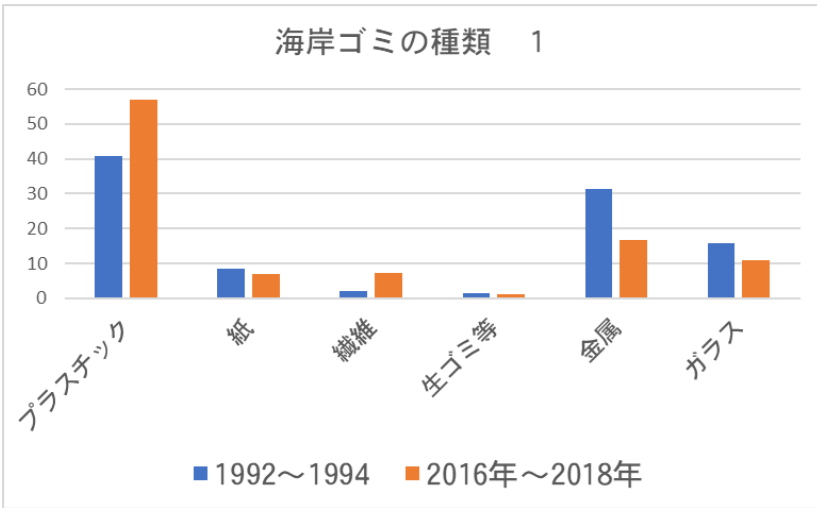
そうです。海はあらゆる生命のやしない手です。そしてわたしたち人間も、

陸地にすむ動物も植物も、もともとは海のおくりものでした。

（富山和子「海は生きている」による）

B

（かながわ海岸美化財団の調査による）



問一

A の傍線部①「ちがったおくりもの」②「もつとおおきなおくりもの」について、その具体的な内容をそれぞれ五〇字以内で要約して答えなさい。

問二

A の文章と B のグラフ 1・2 を元に、考えたことを三六〇字以上四〇〇字以内で書きなさい。

なお、次にあげる指示に従った内容であること。

- ・ A の文章で筆者が主張していることを簡潔にまとめていること。
- ・ B のグラフ 1・2 から分かることを示していること。
- ・ 原稿用紙の書き方に従っていること。

【原稿用紙の書き方】

- 題名、名前は書かずに一行目から書き始めなさい。
- 書き出しや、段落をかえた時は、一マスあけなさい。
- 句読点、かぎっこはそれぞれ一マスに書くこと。ただし、句点と同じかぎっこ（。）は同じ一マスに書きなさい。
- 句読点が行の一番上に来てしまうときは、前の行の最後の字といっしょに同じマスに書きなさい。